

# OPEN! NUMAZU

This issue is "ART"

2023  
vol. 04  
TAKE FREE

## まちなかで感じるアート



いつでも、誰でも、アートを堪能できる  
ストリートギャラリーが紡ぐ景色

さんさん通り沿いにある「まちかどアートギャラリー」を併設した保険カンパニー、吉野エージェンシーの吉野さんは、アートがもつ可能性に注目している。「人の気づきやこれまでと違った発想をもつきっかけになる。経営もアートですね。ギャラリーでは、発表の場を求めているあらゆる層の方の作品を、なるべく多くの方にみてもらいたいと考えています。歩いてみて見えるまちの楽しさを感じてもらいたいですね。」



まちかどアートギャラリー  
吉野エージェンシー 吉野聖一さん



沼津のまちなかには、さまざまなアートを気軽に鑑賞することができるストリートギャラリーがある。通りに面したギャラリーは、いつでも、誰でも、日常的にアートに触れることができる。表通りから1本脇に入った通りにある沼津信用金庫本店の「ぬましんストリートギャラリー」は、昭和62年から40年余にわたり、日本を代表する現代画壇や全国トップクラスの美術館などと提携を広めながら、ジャンルにとらわれない作品を展示してきた。定時の閉店後もギャラリーとしてひらくことで、地域に必要とされる様に、また、本物の芸術があるギャラリーの存在が地域の誇りに繋がれば、という思いがある。

## まちが、ひらいていく。



前回のOPEN NUMAZU weekend



OPEN NUMAZUは、まちなかの公共空間を活用することなどで生まれる風景を「日常」へとつなげ、ヒト中心のまちなかを創り出していくプロジェクトです。

商店街や店舗前に、誰でも自由に使えるイス・テーブルの設置や出店などを行い、歩きたくなる、過ごしたくなる空間づくりを実践しています。これからのまちなかの新たな景色を一緒につくっていきませんか？

INFORMATION 毎月第3週の金・土・日(12月のみ第2週)に、仲見世商店街の旧マルサン書店前の滞在空間等を活用して、出店やイベントなど、公共空間活用のトライアルを行います。

10月のテーマは **アート**

**10/20.fri ▶ 10/22.sun**  
11:00 ~ 20:00

DATE	TIME	LOCATION	EVENTS
11:00~17:00	【旧マルサン書店前】	KAN KAN MARKET (22.sunのみ)	まちで使われなくなった家具などを記憶と共に「環らせ(めぐらせ)」、地域に「運る(まわる)」プロジェクト
			ストリートピアノ (22.sunのみ)
17:00~20:00	【旧マルサン書店前】	NUMAZU COFFEE LAB(コーヒー)、スパイスキッチン kaen(カレー) など	花療茶店(スープ・ドリンク)、POPLY MACHI NO EKI NUMAZU(スムージー)、Applepheromone(アクセサリー) など
			Lady Liddie Artworks(アート物販) など
20.fri	11:00~14:00	【旧マルサン書店前】	NUMAZU COFFEE LAB(コーヒー)、Lady Liddie Artworks(アート物販) など
			ONE DROP(ビール)、たまちゃんのお漬物(お漬物) など
21.sat	11:00~14:00	【旧マルサン書店前】	沼津市健康づくり課 など
			dryflower mofumofu(ドライフラワー)、Lady Liddie Artworks(アート物販)、Applepheromone(アクセサリー) など
17:00~20:00	【旧マルサン書店前】	タウン・イン・タウン315(タイ料理)、Lady Liddie Artworks(アート物販) など	ONE DROP(ビール)、たまちゃんのお漬物(お漬物) など
			ONE DROP(ビール)、たまちゃんのお漬物(お漬物) など
22.sun	11:00~14:00	【パークレット】	スパイスキッチン kaen(カレー)、タウン・イン・タウン315(タイ料理) など
			たまちゃんのお漬物(お漬物) など

\*詳細はInstagram、facebookをご確認ください \*一部店舗は営業時間が異なります

JOIN! OPEN NUMAZUの取り組みに興味がある方はお気軽にご連絡ください。沼津の未来を共に考える仲間を募集しています。  
OPEN NUMAZU運営事務局 e-mail [open.numazu@gmail.com](mailto:open.numazu@gmail.com)

このタブロイドは、OPEN NUMAZUでつくる新たな風景とともに、地域のみなさんの取り組みを身近な自分ごとと感じてもらいながら、場と心と未来を共にひらいていく地域密着のフリーペーパーです。

最新情報はこちら  
<https://lit.link/opennumazu>

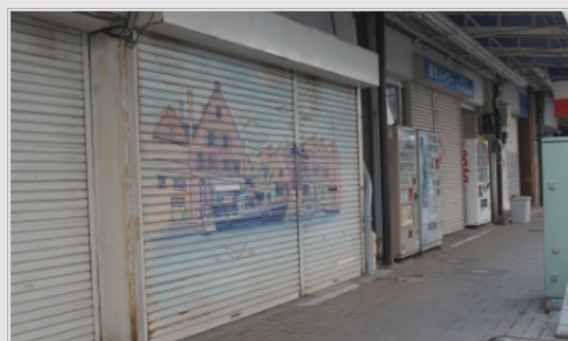
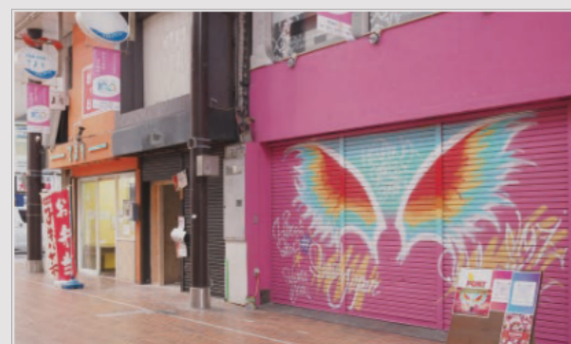
アンケートにご協力ください

閉店時間から始まる  
シャッターアートの世界



沼津仲見世商店街  
たこやきサボちゃん 大木さん

お店の営業時間が終わり、シャッターが下りると現われる、グラフィカルに  
個店をブランディングしたシャッタービジュアルも、まるでアート作品に  
見えてくる。お店の個性が光る作り込まれたシャッタービジュアルは、閉店  
後の街並みを明るく彩り、通りの印象をポジティブに変える力がある。



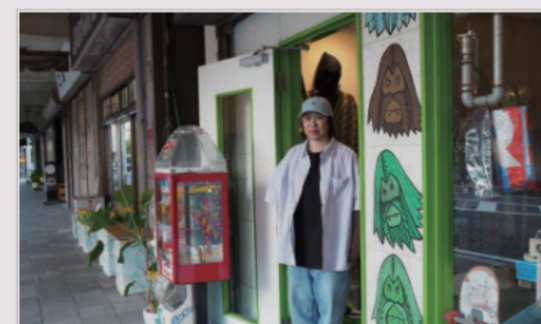
感性と景色

まちに滲み出る  
ストリートアート

まちなかには、ストリートカルチャーを汲むアートがある。「アート」⇔「スケート」  
⇔「ファッション」、それぞれのカルチャーがお互いに影響し合い、それらすべてが  
つながるスケーターのライフスタイルには、ストリートが根底にある。「まちを  
楽しむ」。そんなシンプルな日常こそが、スケートカルチャーに繋がっている。  
グラフィックが施されたスケートボードをアート作品としてコレクションする  
時代、「アートを飾る日常」は、ストリートからも浸透している。



色彩と多才



アーケード名店街  
TRICK'S 寺尾さん



閉店後のシャッターに、国内外で高い支持を受けるアーティスト shizentomotel [シセントモッテル] のライブペイン  
ティングを敢行。4時間程で描かれた制作の様子は映像と写真に取られ、店内で見られることもできる。「静岡沼津」の  
日本語レターが描かれ、この作品を見るために訪れる人がいる程の、アートスポットになっている。